

## 会 議 要 旨

会議名	第4回町田市薬師池公園地域魅力向上計画懇談会	
開催日時	2014年1月20日〔月〕午前9時30分~午前11時30分（会議）	
開催場所	町田市役所 10-4 会議室	
出席者	委員	秋山 綾（会長代理）、藤根 義信、吉田 敦、吉田 隆、徳尾 和彦、岩澤 正、齊藤 喬、清水 滉常（8名、敬称略）、欠席者 池邊 このみ
	未来づくりプロジェクト	企画政策課3名、障がい福祉課1名、農業振興課2名、北部丘陵整備課2名、産業観光課1名
	事務局	公園緑地課長、公園管理担当課長、公園緑地課5名
公開・非公開	公開	
傍聴人数	0名	
議題	施設個々の魅力向上と町田を発信する事業展開について	
次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会挨拶</li> <li>2. 事務連絡</li> <li>3. 施設個々の魅力向上と町田を発信する事業展開について</li> <li>4. 次回の日程確認</li> </ol>	
資料	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第4回懇談会 次第</li> <li>2. 第3回懇談会 会議要旨</li> </ol>	

### 1. 開催挨拶

- ・事務局より、会長遅延と副会長による議事進行を報告
- ・副会長より挨拶

### 2. 事務連絡

- ・事務局より会議の公開について報告。
- ・事務局より配布物の確認。
- ・議題の説明。

### 3. 施設個々の魅力向上と町田を発信する事業展開について

#### (1) 薬師池公園について

##### (委員)

- ・薬師池公園には案内所がない。薬師池公園とその周辺の案内機能が必要ではないか。薬師池公園のツバキは寄贈を受けたものであるが、こうしたいわれを知ってもらいと親しみも増すと思う。丘の駅のインフォメーションセンターとは別に、全体の案内と薬師池公園の案内が必要だ。

(委員)

- ・ 薬師池そのものは今のままでいいと思う。案内は必要だが、案内板程度で大きな施設は必要ないと思う。

(委員)

- ・ 薬師池公園には自由民権運動関連の施設がある。しかし、それとボタン園にある石坂昌孝の墓との関連などが全く書いてない。鐘だけ置いてある。説明不足だと思う。

(委員)

- ・ パンフレットは置いてあるが、初めて行った人にはよくわからない。
- ・ 鐘などなぜ置いてあるのかわからなかった。

(委員)

- ・ 1月18日の日経新聞に、自由民権の碑が紹介されている。自由民権そのものは人を惹きつけるものではないので、石坂美那と北村透谷のラブロマンスがあるから紹介されていると思うが、こうしたストーリーを大切にできちんと表現できるものが必要だと思う。石坂美那については、小説もあるし、大河ドラマの題材としても面白いと思っている。
- ・ 薬師池に関わるストーリーとしては、火山灰で埋まった池を周辺の方が浚渫して作った池だということや、蓮に関するストーリーも大事にするべきだ。
- ・ 施設面で、お客様からいつも言われているのは「ちゃんとした食べる場所がない」ということだ。食べる場所が必要だと思う。これによって滞在時間も延びるし、物販を伴うことによって消費単価も上がる。丘の駅の施設だけではなく、薬師池にも必要だ。

(委員)

- ・ 自由民権運動は町田の大きな特色だ。七国山と自由民権運動は密接な関わりがある。ストーリーを作って説明することは町田の印象を上げることにつながる。

(委員)

- ・ 薬師池全体に言えることだが、拠点とするにはもう少しスケールアップが必要だ。

(2) ぼたん園について

(委員)

- ・ ぼたん園についてもスケールアップが必要だ。
- ・ 食事処のメニューを増やすような工夫も必要だ。

(委員)

- ・ 休憩場所や食事場所などによって、シーズンオフに客を呼び込むことも必要だ。

(副会長)

- ・ 事業構想の中で、通年型の施設として提案されている足湯についてはどうか。

(委員)

- ・ 足湯を整備するのであれば、ここでは車椅子利用者が多いので、こうした方々への配慮が必要だ。
- ・ バイオマスボイラーを検討しているようだが、維持で失敗している例が多いので、慎重に検討する必要がある。

### (3) えびね苑について

(委員)

- ・ えびね苑は他の施設とアクセスが繋がらないのが一番の問題だ。
- ・ えびね苑は人気があって全国的にも珍しい。中の施設は素朴でいいが、もう少し休めて食べられる施設があってもいいと思う。

(委員)

- ・ えびねを移設すると聞いたが、費用も含め大きな問題があるのではないか。

(委員)

- ・ 素案ではえびねの移設をして農業公園として位置づけている。えびねを移設して農業公園として整備することについてはどうか。

(委員)

- ・ えびねは4月下旬から5月初旬で、そのあとはあじさいになる。あじさいはスケールが小さいのでもっと増やすべきだが、これらを除いた期間の使い方を考えるべきだ。谷間になっているので、例えばアスレチックなども面白い。かしの木山自然公園のようなものがないと思う。

(委員)

- ・ えびねは移設したら半分ぐらいは死んでしまうのではないか。もったいない。

(委員)

- ・ 施設の開園期間はまちまちで、開園期間はいいがそれ以外の時はどうするかということが課題と考えられる。それぞれの施設責任者が横の連携をとって、全体会議を開催することが必要なのではないか。

(委員)

- ・ 町田には花の名所としてカタクリがある。カタクリを移植できるような場所は検討できないか。

### (4) リス園について

(委員)

- ・ リス園は知名度が高いが、もう少し面積を広げてリスを増やして体験施設なども整備したらどうか。
- ・ 大島のリスや台湾のリスもいるので、交流事業も考えられる。
- ・ 小動物と触れ合うことができるスペースも欲しい。

(副会長)

- ・ 家族で半日いられるような施設、ビジターセンターほど硬くなく、子供があそびながらリスを知ることができるような施設が必要だ。

### (5) ダリア園について

(委員)

- ・ ダリア園に限らないがアクセスをどう整備するかが問題である。

- ・ 休憩所の機能を充実させていくことが必要で、シーズンオフに人々の注目を集めたり参加してみたいと思わせる企画を提案し、それが休憩所の利用をさらに活性化させていくことを考えたい。
- ・ この地区にはいろいろな花が咲き乱れるが、それぞれシーズンオフの問題があるので、連携があればさらにいいと思う。
- ・ ダリアは秋田や山形のダリア園等と交流がある。日本ダリア会という任意の団体があって池袋でダリア展を開催しているが、ゆくゆくはこういうものも呼び込みたい。
- ・ 施設的にはトイレが古いなどの問題がある。

(委員)

- ・ ダリア園にもストーリーが必要で、町田にあることの必要性などのストーリー展開が欲しい。
- ・ ダリア園だけでなくボタン園もそうだが、全国的にトップクラスであることをアピールしてもいい。スケールだけでなく、何年かに一度新しい品種が出るなどの技術をアピールしてもいい。

(6) (仮称) 薬師池西公園について

(委員)

- ・ 今までの薬師池公園の散策ルートに加えて新しいルート開発ができるので、周遊コースを充実させて欲しい。

(委員)

- ・ 数年前にワークショップを開催して基本構想を策定したが、これを尊重して欲しいという請願があつてそういう方向で市も動いているので、これを踏襲して欲しい。
- ・ その時にも提案したが、今でも水が流れているが恩田川の源流として、池を作るなど復活させていただきたい。
- ・ 西公園には今現在、雑木林や里山の風景、谷戸が残っている。センターハウスなどを作り、こうした豊かな自然の説明をしたらどうか。ある団体がアンケートを取ったら、相模原などからリピーターがたくさん来ている。町田の里山や自然の説明拠点として最適だと思う。

(7) (仮称) 薬師池北緑地、ファーマーズセンター、ふるさと農具館

(委員)

- ・ ファーマーズセンターをもっと活用すべきだ。もっと休憩の要素も必要だし、展示の要素も必要だ。もったいないと思う。

(委員)

- ・ 今、ファーマーズセンターの東側に谷戸山体験実習場として位置づけられている場所がある。実習場という位置づけのまま残すのか、水田跡もあるので、これを来訪者に知ってもらう場所にするのか、議論する必要がある。

(委員)

- ・ 農具館には昔の農具などが展示してあつて小学生が見学に来る。見るだけではなくて、子

供が実際に農具を使った体験などができる場として整備すれば人気が出るのではないか。

(副会長)

- ・ 農具館という名称の再検討も必要だ。

(委員)

- ・ 七国そばなどは売れると思うので、商品としてマーケットに出せるような量的拡大を目指すべきだ。

(委員)

- ・ 展示物については、パネルの見直しなどもう少しわかりやすく展示しようとして取り組んでいる。
- ・ 参加型の体験についてはスペース的に難しい。ファーマーズセンターの活用やイベントとの連動などを考えないと難しい。
- ・ 展示物の見学にはリピート性がないので、他の施設との連携が必要だ。

(委員)

- ・ 運営組織をもっと市民に開けた組織にすると観光スポットとして事業展開していくことができるのではないか。
- ・ 町田にとっては養蚕の歴史は重要なので、例えば横浜のシルク博物館にあるような養蚕の歴史なども展示する必要があるのではないか。

#### (8) 民権の森緑地保全地域について

(委員)

- ・ 民権の森の緑地に接して見晴らしのいい場所があるが、市の土地があるのであれば、下から上がって来られるようにするとか、もっと利用しやすいように整備すべきだ。
- ・ 緑地保全地域の管理体制を、ボランティア団体を含めもっとはっきりさせるべきだ。管理が十分とは言えない。

#### (9) 七国山緑地保全地域について

(委員)

- ・ 東京都に植物を育てる場所として指定されており、観光客にはあまり入ってきてほしくない場所のため、地図には載っていない。保全地域の真ん中を鎌倉古道が通っていること、また、東京都も生物調査を行うなど保全地域として重要視していることから、自然が破壊されない方法を検討している。このエリアについては、あまり観光的な位置づけを考えない方がいい。
- ・ 薬師池全体の中で行き来の多いルート上にこころみ農園があるが、これをルートの中でどう位置付けるのが課題だ。

(委員)

- ・ 七国山には散策者が多いので、こころみ農園については、まずはベンチを置くなどして休憩所として位置づけたい。生産しているシイタケについてもブランド力を上げて、七国山の名産・特産と位置付けられるようにしたい。

- ・ ころみ農園の横にある七国山自然苑の付近に東屋など立ち寄れるような場所を整備すべきだ。

(10) 地域全体について

(委員)

- ・ 市民が関わることのできるような管理体制を構築すべきだ。管理を指定管理者に任せると市民ボランティアは使われるだけになってしまう。指定管理者と市民の団体が協議会を作って市民が意見を言えるような運営体制を作るべきだ。

(委員)

- ・ 地域全体の情報発信を一括して行う総合窓口が必要だ。

(委員)

- ・ 町田市では公園緑地課、農業振興課、障がい福祉課、産業観光課の4つの部局が関わっているが、庁内にこれらを連携して一つにまとめる組織が必要だ。
- ・ 風致地区の移動手段は環境に配慮したものを検討すべきだ。

(委員)

- ・ 懇談会での意見はどう整理するのか。

(事務局)

- ・ 次回には懇談会での意見を計画にどう反映させるのかを示したい。

(委員)

- ・ 薬師池について庁内にまとめる課が必要だ。

(委員)

- ・ 地域内の施設の連携や一体性が不足している。各施設の責任者による会議を設けることが必要だ。

(委員)

- ・ 各施設の料金がマチマチだが、全部回れる通しのチケットを作ったらどうか。

(委員)

- ・ 来園者にPRするだけでなく、広報誌などでもう少しPRしたら、行ってみたいと思う人が増えるのではないか。

(委員)

- ・ 今後のプランニングに市民が参画できる仕組みを作るべきだ。

(委員)

- ・ 地域全体をプロデュースしていくという視点を忘れずに計画していただきたい。

(委員)

- ・ 観光客が増えると、ゴミや違法駐車などマイナスの部分も見えてくる。地域に関わっていない人も含めて個々の意識を高めていくことが必要だ。

(委員)

- ・ 今後、薬師池地域が町田市の新たな集客地域になることを期待したい。

(副会長)

- ・ 今日の議論をまとめると以下の 3 点になると思う。
  - ①この地域が持っているストーリーを使った PR を考えていかななくてはならない。
  - ②アクセスについては交通の問題もあるが、料金など客にとっての使いやすさなどを考えることも重要だ。
  - ③関係者の全体的な連携をもって事業を推進するとともに、市民の意見を吸い上げかつ意識を高めていくことが重要だ。

#### 4. 次回の日程等

- ・ 2 月中旬から 2 週間程度の予定で、市民からの意見募集を行う予定。
- ・ 第五回懇談会は、2014 年 2 月 28 日（金）午前 10 時からの予定。

以上